

精華町地球温暖化対策地域協議会 議事要旨

■日時・場所

○平成 29 年 3 月 30 日（木） 14 時 00 分～15 時 15 分

○精華町役場 6 階 審議会室

■内 容

1. 開会（事務局）

○資料の確認

○人事異動に伴い新たに委嘱した委員を紹介

2. 公共交通利用転換事業計画の施策の進捗状況について（事務局）

(1) 連節バスの運行に係る施策

①連節バス運行ルートについて

- ・資料①②を用いて説明。
- ・平成 29 年 3 月 23 日に奈良交通が開催された、報道関係者向けの「連節バス披露会」の報告。
- ・連節バスの運行ルートについて、平成 27 年 10 月に実施した連節バスの試走で走行した住民利用が期待できるルート案と、企業立地等に伴う祝園駅からの通勤者の需要を考慮したルート案で検討中。
- ・運行予定の朝夕の時間帯については、利用実態の少ない山手幹線上のバス停は停車しない急行運行を想定されている。

②連節バス運行ルートの整備について

- ・資料③を用いて説明。
- ・精華大通り上のバス停については京都府が改修中、町道の光台を循環する道路については改修に向けて警察と協議中。
- ・結節点として想定しているけいはんなプラザと K I C K のバス停、起終点となる祝園駅バス停については、高機能化に向けてバスロケーションシステムの表示パネルの設置等を奈良交通と今後協議をしていく。

③祝園駅西側駅前交通広場の整備・運用について

- ・資料④を用いて説明。
- ・祝園駅西側駅前交通広場は、公共交通への利用転換とバスの定時性の確保のため、公共交通専用にするべく関係者と協議を進めている。

(2) その他

①全体スケジュール

- ・資料⑤を用いて、主要事項の施策について大まかなスケジュールを説明。

②その他の施策について

- ・京都府とけいはんなプラザを結ぶ直通バスについては、3月21日から実証運行の内容を変更して運行している。交通結節点として想定するけいはんなプラザ、KICKを経由する新たなルートと時間帯で運行し、回数券を新たに導入した。
- ・定時制や速達性の向上に向けたPTPSの導入については、連節バスを運行する中で、必要性があれば公安委員会と協議を行う。
- ・スマートライト等の導入については、スマートモビリティワーキングで、導入に向けた基礎調査を実施している。
- ・定時制や速達性の確保に向けた乗降時間の短縮策として、ラッシュ時は停車停留所の限定を検討すること、スムーズな降車に向け車両を分けた乗車ルールの確立を推進すること、新規立地企業に対して事前にICカードの利用促進を図ることを説明。
- ・連節バスの導入目的等を理解いただき、公共交通への利用転換を推進するため、連節バスの愛称募集を予定しており、愛称の決定は本協議会で協議して貰う予定であることを説明。
- ・カーシェアリング事業については、京都府を通じ、ベンツ社から実施したいと聞いているので、以前に六甲産業が実施していた事業を見直した中で、再スタートしたいと考えている。

3. 意見交換

(会長)

委員が変わられていることもあるので、再度、連節バスの導入と二酸化炭素の削減がどう繋がるのか説明いただきたい。恐らく来年度にはそういった協議を行うことになる。

(事務局)

現在の路線バスのルート沿線において大規模な企業が立地し、祝園駅からバス利用をされる方が数百人規模増加すると想定している中で、2台のバスを運行させるより連節バス1台を運行させる方が二酸化炭素の排出削減に繋がるという考えがある。また併せて、公共交通の定時制等を確保することにより自家用車から公共交通への利用転換を誘導することで、二酸化炭素の排出削減に繋げたい。

(委員)

以前からも発言しているが、基幹路線の整備も重要にはなるが、その先の毛細血管となる交通の確保も重要になる。先ほどの六甲産業のカーシェアリング事業と奈良交通のバスロケ等は組み合わせることができるのか。

(委員)

京都府が主催されているスマートモビリティワーキングで、地域に有るシステムをどう繋げていくか議論しており、今後も地域にとってどのようなシステムにするのが良いのか議論していく。

(委員)

地域の住民等の利用者にとって便利だと思ってもらえるようなシステムを作りたいと考えている。

(会長)

全てのバス停に導入するのは厳しいとは思っているので、ハブ（交通結節点）として説明されたけいはんなプラザやK I C Kのバス停については、何とか形にできるようスマートモビリティワーキングで議論いただきたい。

（委員）

高齢者は運転するのが大変なので、地域で行うカーシェアリング事業については、その辺りを考慮して欲しい。

（委員）

今のカーシェアリング事業は第1段階で、最終的には自動運転車に切り替えることで、運転免許が無い方等も利用できるような仕組みまで持っていきたいと考えている。

（委員）

連節バスは京都で初めて運行されるのでとても楽しみにしている。

立地企業に対して、特に運行開始後はバスを利用いただくような働きかけをする予定はあるのか。

（事務局）

この協議会を立ち上げさせていただいた頃に、各企業に対し新しい公共交通システムの話しをさせていただいている。また企業が立地される際にも公共交通を利用いただくことを最重点にお願いしている。

（委員）

先ほど事務局から説明があった交通結節点とカーシェアリング事業のポート（駐車場）は同じ場所というイメージで良いか。また今後のコミュニティバスの考えは。

（事務局）

交通結節点として説明したけいはんなプラザやK I C Kにはカーシェアリング事業のポートは必要と考えている。

現在コミュニティバスは2台で北ルートと南ルートを運行しており、1回あたりの運行時間が長いという課題がある。連節バスの基幹ルート上に交通結節点ができればコミュニティバスも結んでいく中で、課題解決に向けて検討していきたい。

（委員）

3月28日に開催した精華町地域公共交通会議でも、この連節バスの事業に対して事務局の精華町からも説明があった。何点か確認したい。

1点目はハード面の整備が間に合うのかということ。2点目はルートについてで、住民の移動ことを考えると光台を循環している路線に導入するのは理解できるが、企業への従業員は学研奈良登美ヶ丘駅からも来ている。その辺りの考え方はどうか。

（事務局）

ハード面の整備につきましては木津警察署にも一緒になって考えていただいております、早期の整備に向けて取り組んでいる。

ルートについては、祝園駅と学研奈良登美ヶ丘駅を結ぶ路線を基幹路線として連節バスを運行したいという考えはあるが、国道163号線での渋滞等があり定時制や安全な運行の観点から今は導入できない。現在、国と精華町で国道163号線の拡幅工事を行っているので、整備が終わるまでの当面は光台の循環ルートを運行させたい。

京都府としても奈良県や、奈良県及び大阪府側の国道 163 号線の拡幅工事を担当している浪速国道にも話はしているので、今後も連携を密にして祝園駅と学研奈良登美ヶ丘駅を結ぶ路線の実現に向けて取り組んでいきたい。

4. その他（事務局）

○今後のスケジュールについて（資料⑥）

- ・次回の協議会は6月頃で調整中。

5. 閉会